

01 第5回 SHIDOパーシモンカップin友愛

久米島への切符をかけ熱戦！

第5回SHIDOパーシモンカップin友愛が6月20日緑の丘友愛パークゴルフ場で開催され、道内外から114人が参加しました。今大会の優勝者は、次回沖縄県久米島町で開催される大会へ招待されることから、白熱したプレーが繰り広げられました。久米島からとうばら ひでお桃原秀雄町長が参加され、1組目としてスタート。

女子の部では森町の三浦スミ子さんが優勝を果たし、次回大会の権利を手中におさめました。



ティーショットを放つ桃原町長（中央右）

02 砂原中もりまちPR隊任命式

函館で森町の魅力を発信！

7月10日に砂原中学校体育館で「もりまちPR隊任命式」が行われ、町長が同中3年生25人をPR隊員に任命しました。隊員は7月14日に函館市で、生徒が作成したパンフレットや砂原の特産品などを配布します。岡嶋町長は「地域の産業や観光の魅力発信に全力を尽くしてください」と激励。生徒代表の松村香凛まつむら かりんさんは「森町の魅力を多くの人に知ってもらえるよう責任を持って活動します」と決意を述べました。



町長の激励を胸に、PR活動へ向け決意を固める松村さん

03 役場庁舎イエローライトアップ

黄色の光で願う 明るい地域社会

7月2日、「社会を明るくする運動」の一環として、更生保護への理解と支援を呼びかけるため、森町役場庁舎をシンボルカラーの黄色でライトアップしました。このライトアップには、新たな被害者も加害者も生まない安心で明るい地域社会の実現を目指し、犯罪や非行の防止と、立ち直ろうとする人を地域全体で支えるという願いが込められています。夜の庁舎を照らす黄色い光が、運動への理解を広く呼びかけました。



黄色にライトアップされた役場庁舎

04 夏の交通安全運動に伴う交通安全街頭啓発「旗の波」

みんなで届ける交通安全の願い

夏の交通安全運動に合わせ、7月13日、道の駅「つど〜る・プラザ・さわら」前で交通安全街頭啓発「旗の波」が行われました。森町交通安全母の会（斉藤優香会長）をはじめ、森警察署や交通安全関係団体、さわら小学校3・4年生と砂原中学校の児童・生徒ら約80人が参加。参加者は交通安全の旗を手で国道278号沿いに並び、ドライバーへ安全運転や交通事故防止を呼びかけました。



ドライバーへ安全運転を呼びかける児童・生徒たち

05

令和8年度 芸術鑑賞事業

伝統芸能の魅力を堪能

7月11日、森町砂原公民館で新芸能集団「乱拍子」による公演が開催されました。力強く打ち鳴らされる大太鼓をはじめ、ひょっとこ・おたふくによる軽妙な演技や、エゾオオカミをモチーフにした獅子舞神楽が披露されたほか、獅子が観客の頭をかむ縁起の良い場面も見られました。観客による太鼓演奏や大道芸を体験する参加型の演目もあり、日本の伝統芸能を身近に感じる機会となりました。



躍動感あふれる獅子舞神楽

06

森町国際交流中学生派遣事業「LINK TAIWAN」結団式

中学生6人が台湾へ！出発に向け決意新たに

7月15日に森商工会議所で、一般社団法人森青年会議所（吉田靖明理事長）主催による「森町国際交流中学生派遣事業『LINK TAIWAN』」の結団式が行われました。台湾・彰化市との交流を通じ、国際的な視野と新たな絆を育む事業です。「LINK」には「つながり」「架け橋」「絆」の意味が込められています。参加する6人は森町の魅力を発表し、「森町の良さをしっかり伝えたい」と決意を語りました。



生徒を代表して挨拶をする菊地雷之助さん（左から3人目）

07

第18回オニウシ・サマーキャンプ

心ひとつに、コートを駆ける！

7月18日と19日の2日間、「第18回オニウシサマーキャンプ ミニバスケットボール大会」が、森町民体育館をメインに町内3会場で開催されました。

札幌や函館など道内各地から51チーム、総勢694名の選手が集結。保護者の協力不足などで大会縮小が相次ぐ昨今、この規模で18回も紡がれてきた歴史は地域の誇りです。

本大会は、全員が一体となり「よりよいミニバス」の環境をつくることを目的としています。プログラムに掲載された保護者、プレイヤー、観客それぞれの「10か条」が印象的で、保護者には「勝利にこだわりすぎず励ますこと」、選手には「全力を尽くし、人のためではなく自分が楽しむこと」など、当たり前だけれど大切な心得が記されていました。試合では、仲間を励まし合いながら最後まで全力でプレーする姿が随所に見られ、会場は温かな声援と笑顔に包まれました。スポーツを通じて子どもたちの成長を支え、地域の絆を育む大会として、その価値を改めて感じる2日間となりました。



絆を深め、勝利を誓う



ゴールに向かって全力プレー！